

《第25回再生技術部会の開催》

令和元年12月6日（金）の14時30分より、豊富町民センターの2F大ホールにおいて《第25回再生技術部会》が開催され、会員・関係者のほか一般傍聴者を含む35名の参加がありました。

当日は、北海道開発局稚内開発建設部による自然再生の取組（緩衝帯・沈砂池）が来年度で終了する予定であり、終了に向けて「農業と湿原の再生に向けた自然再生実施計画書（緩衝帯・沈砂池）」の一部変更を検討していることから、その中間報告として『農業生産基盤整備完了後のモニタリング項目の変更案』について、また、環境省北海道地方環境事務所から、上サロベツ自然再生実施計画書に関する報告として『サロベツ川放水路南側湿原周辺の乾燥化対策』『サロベツ原生花園園地跡地植生回復試験地の改良』及び『丸山周辺のササ進入抑制対策』の3点について、今年の実施状況と、それを踏まえた来年の調査等の予定について、それぞれ説明がありました。

稚内開発建設部の報告に対しては、整備完了後のモニタリング方法について北海道地方環境事務所の報告に対しては、対策方法の考え方や効果について、参加者からの活発な質問や意見交換が行われておりました。

取組状況についての報告の様子

【再生技術部会・会場の様子】



担当者からの説明状況

活発な質問・意見交換



《第20回再生普及部会の開催》

第25回再生技術部会（12/6開催）に続き、令和元年12月7日（土）の14時より《第20回再生普及部会》が開催されました。

こちらは、豊富町定住支援センター「ふらっと★きた」多目的ホールに会場を移し、会員・関係者のほか一般傍聴者を含む21名の参加がありました。

当日は、NPO法人サロベツ・エコ・ネットワークより、平成31年度（令和元年度）における普及活動の結果報告と、令和2年度における普及活動の進め方について、説明されました。

会員からは、普及活動内容を広く周知するために、都市圏でのPRイベントを開催してはどうか？ といった提案が出されるなど、終始、活発な意見交換が行われました。

再生普及部会の様子



【普及活動の結果報告】



【意見交換のようす】

《エコモー活動発表会の開催》

第20回再生技術部会の開催に先立ち、令和元年12月7日（土）の10時から《エコモー活動発表会》が開催されました。

エコモー活動発表会は、サロベツ・エコモー・プロジェクトに登録して活動されている団体が集まり、日頃の活動についての報告や意見交換を通じて、団体同士の交流・親睦を深めるイベントです。

当日は「豊富高校ボランティア部」ほか5団体からの活動報告、登録団体の活動紹介パネルや作品の展示、その後の懇親会により団体・参加者同士の親睦を深めました。



【展示（パネル・作品）の様子】



【活動報告の様子】